

秋田県教育カウンセラー協会 第7回 “リレーエッセイ”

教育から福祉へ ～途切れない支援を目指して～

(株) ふらここ 公認心理師・相談支援専門員

奈良 恵子

私の会社の名前は「ふらここ」です。ブランコの古い呼び名です。子どもがブランコを漕ぐように、始めは誰かに背中を押してもらって、後は自分の身体全体を使って力強く漕ぎ出して生きてほしい、との願いが込められています。

私は38年間の教職生活を終え第2の職業として心理職を選択しました。教職生活では学校の集団に入れない子の支援に手が届かないことが多く、学校と学校外との支援の繋がりで子どもたちを支えることができたかと思っていました。現在「ふらここ」で、心理を支援の柱として「子どもから大人まで、途切れない支援」を目指して日々相談支援を行っています。カウンセリング・発達検査と、相談支援の2つの事業を行っていますが、3つ目の事業として放課後等デイサービスを開設して不登校児童生徒を受け入れる準備を進めています。相談に来る方々にどんな支援を行っているのかを一部ご紹介します。

・0歳から6歳まで 未就学児の支援

子どもの言葉の遅れや癩癩、一人歩きの遅れ等が気にかかる親御さんが、相談に来ます。自分の思いを言葉で伝えてほしい、自分の足で歩いてほしいという願いを実現できるように、どんな支援ができるかを一緒に考えていきます。専門的な療育を受けることのできる施設に繋ぐことや発達を促す栄養等の支援を行っています。秋田市の3歳児健診では発達相談も担っています。

・6歳から18歳まで 就学児の支援

学校集団にうまく適応できない小・中・高校生と親御さんが相談に来ます。不登校、学習困難、友だちとのトラブル等相談は多種多様です。発達障害との診断を受けた子どもは、療育を受けるための放課後等デイサービス等に繋がります。療育の開始時や進級等の節目に学校に出かけ、担任の先生や放課後等デイサービスの支援の方、保護者等と一緒に会議を開いて支援目標を共有しています。

・18歳以上 大人の支援

学校を卒業した後社会人としての生活に困難を抱える人や、知的・精神・身体障害がある方々が社会生活を営むための支援等を行っています。ニーズに応じて福祉サービスを提供することや心理支援を行っています。

子どもから大人までの支援に携わりながら日々感じていることは、生き方・あり方に、こうあるべきという正解はないということです。その人が今もっている力を発揮して自分のペースで精一杯生きるために、心に寄り添った支援を今後も模索していきたいと思います。